

第17回潮芦屋アクアスロン大会 注意事項

① 総合

- 選手として参加されるお子様に、このしおりの内容(ルール・スケジュール)を十分理解していただくとともに、ご家族の方にもご理解いただき、ご家族全員でアクアスロンを楽しんでいただきたいと思います。お子様にはむずかしい漢字や言い回しがありますので、おそれいりますが、保護者の方が十分に説明してあげてください。
- 大会には、障がいのある選手も参加し、一般の部の競技クラスの中で一緒に競技します。選手及び伴走の方々はトレーニングを積まれ、競技運営とも打合せを行っており、審判員・スタッフは最善の注意を払っていますが、参加者の皆様も、競技中の配慮をお願いします。
- 大会会場へは最寄りの公共交通機関をご利用ください。選手受付及びトランジションは、阪急バス41番系統(涼風町行き) / 71番系統(涼風大橋南行き)で阪神芦屋駅から約15分芦屋市総合公園前下車。東南側約300mの潮芦屋緑地東駐車場までお越しください。
- 駐車場は「競技コース図」に記載された場所(芦屋市総合公園北駐車場)をご利用ください。
- 競技前後の更衣は、潮芦屋緑地東駐車場に設営した更衣室テントをご使用ください。
※トランジションに更衣テントは有りません。
- 競技後のシャワーは、受付近傍に設置した仮設シャワー施設をご利用ください。
- 記録はスイムフィニッシュと総合フィニッシュの2ヶ所で計測します。
- 計測は、足首に巻きつける計測用アンクルバンドを使用します。



アンクルバンド

② 選手受付

- 受付でお渡しするものは下記の通りです
参加記念品:フィニッシャータオル(フィニッシュゲートでお渡しします)、トランジション袋1枚、レースナンバーカード1枚、スイムキャップ、計測用アンクルバンド(スイム招集時に配付します)
- **海岸の環境保全のため安全ピンの使用を禁止します。レースナンバーベルト、(ゴム紐代用)をご用意ください**
- 受付で選手登録を行い、ポディナンバーは各自で左腕に縦書きしてください。会場では込み合いますので事前の記入をお勧めします。
- レースナンバーカードの枚数は、個人は一人で1枚、リレーは1チームで1枚です。
- 計測用アンクルバンドは防水タイプで、スイムスタートする砂浜のスイム招集地点で配付します。計測用アンクルバンドにはレースナンバーと名前を表示していますので、受取る時に確認し、他人のものと間違えないようにしてください。
- ナンバーカードはランウェアの前にくるようにレースナンバーベルトを使用して付けてください。当大会では安全および環境面を考慮し、安全ピンの使用は禁止です。ナンバーカードは、レースナンバーベルトやゴム紐等を使い着用してください。



③ 競技について

- コースはクラスによって周回数・折返し地点が異なります。ご自分の参加されるクラスのコースをしっかりと覚えておいてください。競技規則でもコースを熟知する事が求められています。
- スイムスタート前の更衣は、潮芦屋緑地東駐車場の更衣テントで行ってください。スイム会場には、ウェットスーツ以外のもの(タオルやランで使うウェア、シューズ)を持ち込むことはできません。
- トランジションエリアは選手専用です。同伴・応援の方は入る事は出来ません

- トランジションエリアには、レースナンバーを表示した用具入れの「カゴ」が設置されます。各自のレースナンバーの「カゴ」の位置が各選手のスペースになります。
- これから競技に使用する全ての用具は、この各自のスペース内に置かなければなりません。ランで使うウェア・キャップ・サングラス等は「カゴ」の中に入れてください。ランシューズ(1足)は、「カゴ」の前の地面に置くことができます。
- 競技が終了して使い終わった用具は、全てこの「カゴ」の中に収納しなければなりません。スイム競技後のウェットスーツやゴーグルスイムキャップは全て「カゴ」の中に入れてください。
- スイム終了後に使用する眼鏡は、用意された名前札にお名前を書き、スイム会場出口のテーブルに置いてください。
- フィニッシュ後に計測用アンクルバンドをスタッフが回収します。必ず返却してください。
- 競技中にリタイア(スイムまたはランを自ら途中で止めた場合、スイムでライフセーパーに近くの砂浜まで引き上げられた場合や、救護担当者やスタッフに担架や救護車輛で救護テントまで搬送された場合など)した場合、審判員又はスタッフが計測用アンクルバンドを回収します。もし、回収漏れがありましたら、大会本部にリタイアであることを申告して必ず返却してください。
- 貴重品、荷物の預かりはありません。各自で管理をお願いします。

■ 競技規則 (ローカルルール)

◆ 大会競技規則とローカルルール

大会参加者は、(公社)トライアスロンジャパン競技規則(2026年度版)、ローカルルールにもとづき競技してください。規則の違反に対しては罰則を適用します。罰則は、違反の程度により指導、タイムペナルティ又は失格のいずれかとします。

※ [トライアスロンジャパン競技規則改訂\(2026年度版\)](https://www.itu.or.jp/news/2026/02/20/80924/)

<https://www.itu.or.jp/news/2026/02/20/80924/>

◆ 競技全般

- 当日朝の「競技説明会」には必ず出席して、ローカルルール、タイムペナルティの適用など重要事項を理解し参加してください。
- 大会実行委員会は、大会当日の気象条件等で安全に競技が出来ないと判断した場合、競技内容を変更、一部あるいは全部を中止することがあります。
- 大会日程で決められた時間(スケジュール)を厳守してください。遅刻した場合競技に出場できなくなります。またやむを得ずスケジュールを変更する場合があります。その場合は大会本部にて告知しますのでお見逃しの無いようお願いします。
- 第三者による特定の個人への援助(給水など)は禁止されています。競技中の選手への援助は大会主催者が用意したものだけです。
- 競技中は携帯電話、スマートフォン等の通信機器、ヘッドホン等のオーディオ機器、撮影可能な機器の持込みおよび使用を禁止します。
- 総合フィニッシュ時は、レースナンバーカードが確認できるよう整え、サングラスを外すことを推奨します。
- 競技途中でリタイアする場合は、すみやかにレースナンバーカードと計測用アンクルバンドをはずし、必ずリタイアしたことを大会本部または審判員(オフィシャルウェアを着ています)まで届け出てください。それ以外のコース誘導等の係員に届け出られても大会本部にはリタイアしたことが伝わりませんのでご注意ください。
- レースナンバーカードの変造、折り込みはペナルティの対象となります。
- 競技中に、競技を終了した選手や同伴・応援の方がコース上を移動または横断する場合は、競技中の選手に充分配慮し、大会スタッフの指示に従ってください。

- 記録証(完定証)の会場でのお渡しはありません。後日、各自で大会ホームページから入手できます。
- 記録は大会会場に速報を掲示します。記録証の配布はしません。
- 公式記録は 後日、大会のホームページに掲載します。

◆スイム競技

- スイムのスタートはクラス毎のウェーブスタートです。水辺の手前のスタートラインよりスターターの合図でスタートします。
- スタート前の招集は、各クラスのスタート15分前までにスイム会場入り口で入水チェック(計測用アンクルバンドを受け取る)を受け、待機場所で行います。
- 競技選手は、大会支給のスイムキャップを着用してください。
- ウェットスーツの着用を推奨します。
- 一般(大人)で泳ぎに不安のある人は、大会本部に申し出て目印の「黄色の風船」の装着を受けてください。
- ジュニア(小学生)で泳ぎに自信のない人は、浮き具・ピート板等の使用を許可します。
- ゴーグル、ノーズクリップ、耳栓、腕時計、心拍測定器の使用は認めますが、その他のあらゆる用具の使用装着を禁止します。
- 競技のスタートは、ウェーブスタートです。ご自分のスタート場所、時間を確認しておいてください。



スタートまでの流れは、

- ・スタート時間の 15 分前にスイムの用意をしてスイム会場の招集地点(砂浜)に集合します
- ・計測用アンクルバンドを受け取ってください
- ・計測マット(ゴムシート)を通過して入水チェックを行います
- ・スタートの合図でスタートします
- ※集合時間(スタート時間ではありません)に遅れると競技に参加できません
- ※アンクルバンドをつけないと記録が出ません。失格となりますので必ず装着してください
- ※入水チェック後は待機エリアから出られません トイレは済ませてください
- 周回数は競技クラスで異なります。一般 B は 2 周回しますが、周回チェックは行いません。2 周回目はいったん砂浜に上がって折り返します。
- 一般 B の選手に限り、1 周回を 25 分以上かかった場合は 2 週目に進めません。リタイアとなりますのでご承知ください。(DNF)
- スイムスキップを許可します。体調が万全でない時には勇気を持って参加を辞退しましょう。スイム競技をしないでラン競技をするスイムスキップを許可します。スイムスタート前に書判員に申告してください。リレーゾーンからのスタートになります。スタート後の申告はリタイアとなります。

◆トランジション

- 競技に直接必要でない着替え、バッグ類及び貴重品などはトランジションエリアに持ち込めません
- 各選手のスペースは縦 90 cm 横 50 cm になります。その区画にレースナンバーを表示した用具入れの「カゴ」が設置されます。競技に使用する全ての用具は、この各自のスペース内に置かなければなりません。「カゴ」に入らない用具は持ち込めません。
- ランシューズ(1 足)は、「カゴ」の前の地面に置くことができます。
- 競技が終了して使い終わった用具は、全てこの「カゴ」の中に収納しなければなりません。スイム後のウェットスーツなどが「カゴ」の外に散らかっている場合は、他の選手の妨害となりますので、ペナルティの対象となります。必ず収納してください。
- 指定のトランジションスペース内で着替えてください。なお、オープンスペースではみだりに裸にならないでください。

□ トランジションエリア内は、選手・大会スタッフ以外の立ち入りは禁止です。同伴・応援の方にもお知らせください。

□ 競技を終了した選手のトランジションエリア内の立ち入りは、他の競技中の選手に充分配慮し、大会スタッフの指示に従ってください。

◆ラン競技

□ ランコースは左側通行です。

□ ランウェアを必ず着用し上半身はだかで走らないでください。また、前開きおよび前ファスナー付きユニフォームは着用を許可しますが、競技中は TRIJ ルールを守り、ゴール時にはファスナーを閉じてください。

□ 一度フィニッシュした選手は、再フィニッシュはしないでください。また他の選手の応援・伴走等で再度コースに入らないでください。

□ 総合フィニッシュの直前では本人確認のためサングラスははずし、レースナンバーの確認ができる姿勢でフィニッシュラインを越えてください

□ リレーはチームメンバーとの同伴ゴールを認めます。希望者は待機エリアにお越しくください。

◆エイドステーション・その他

□ エイドステーションは、スイムフィニッシュ地点とランコース上には2か所、設置します。

□ エイドステーションでのコップ、ゴミなどは指定の場所に捨ててください。後続競技者の安全と、地元への迷惑にならないようコース上、コース脇に捨てないようにお願いします。

◆リレー

□ リレーはトランジションエリアにあるリレーゾーンで行い、計測用アンクルバンドをラン走者に引き継いでください。ラン選手は、リレーゾーンに素足で待機し、アンクルバンドの引き継ぎを受けてから、トランジションエリアに行き、チームスペースでランシューズを履いてください。スイムが終わった選手は、各チームスペースにある用具入れの「カゴ」の中に用具を収納してください。

□ 2人の合計タイムがチーム成績となります

□ チームメンバーの同伴ゴールを認めます。同伴者は決められた位置で待機してください。